（本號八面）　（明治三十五年一月廿日　郵便信書認可）　明治二十五年四月二十七日　（定價金二錢）

時事新報

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり　時事新報には每號詳細なる商況物價の報告あり

第三千三百二十七號
明治廿五年四月廿七日　水曜日
舊曆壬辰四月朔日
月出午前四時五十五分　入午後六時二十三分
月入午後六時五十二分
潮汐午前五時一分　午後五時三十五分
（西暦一千八百九十二年）

時事新報の地租論

地價修正地租輕減の議論は目下の流行にして天下政客の狂熱恰も醉へるが如し其醉狂果して虛か實か苟も眼中國家を見る者にして眞實に熱するが如きは勿かるべしと雖も假令ひ一時の政略にもせよ其熱論以て人を誤るなきを期す可らず依て我時事新報は地租論一編を草して本月二十九日より數日間の社說に掲載し世論の如何に拘はらず修正輕減の利害を說き以て斯民休養の眞面目を明にせんとす凡そ國家に深切の情あらん人々は先づ此地租論を一讀して方向を定められんことを本社の切望する所なり

明治廿五年四月　時事新報社

時事新報

プールス法處分の必要は獨り株式米穀の爲めのみに非ず

定期賣買は取引の法の進歩したるものにして獨り株式米穀にのみ必要なるに非ず生絲、製茶を始め鹽、綿、油等各地特有の物產皆然らざるなきは勿論のみとなるに去十九年頃迄は定期賣買を株式米穀の二者に限りて一切其他の賣買には許さゞるがごとなりしに二十年五月新取引所條例の發布を以て賣買の區域を廣くしたるは精神に於て甚だ美なるに似たれども如何せん其實行の方法に至り古流偏屈の思想を以て定期賣買の自由を妨げ數十年來成立の習慣をも打ち破りて徒に商業社會の安寧を害するのみの次第にして既發の新法も遂に中止の姿となりて現在の米商會所、株式取引所は不幸の中の幸に暫時營業を繼續するを得たれども其繼續の期限は幾度か變きて幾度か改まり四五年を經て今日に至りしみとなれば製茶生絲以下の商賣に定期賣買の便法を許されざるは猶ほ去十九年頃迄と同樣にして其道の爲めには甚だ迷惑なりと云ふ可し

米商會所、株式取引所の方より云へば營業期限の滿つる後は如何に成り行く可きや不安心なるに相違なしと雖ども滿期に至るまでは今の儘にて商賣を營むことを得るのみならず今後新に定まる可き條例に遵ふとするも之を喩へば古き住居より新宅に引き移るが如し左まで困難事にもあらず實を云へば今後重ねて延期を望むの情もなきに非ざれば政府の筋にても先づ〳〵其儘〳〵に差置き直接に取引所條例の利害を感ずる現在の相場會所だに靜にして居る間は進んで手を着くるにも及ばざる可しとて扨てもプールス法の處分を等閑に遇すして今日に至りしみどならんなれども左りとては米穀株式以外の商品みと迷惑なれ商業擴張の旨に戾るみと甚だしきものと云ふ可し左れば其筋の商人は今度の議會に取引所條例の修正案を建議して速に新法の實施を促さんみと我靈の企望して揖かざる所なり

今日の處にては製茶生絲以下の商品に定期賣買の便法を用るみと能はざるのみならず舊來定期賣買を許されたる米穀株式の取引も亦新に市場を開くを得ず何となれば新取引所條例は實際に行ふ可らずして有れども猶ほ無きが如くなると同時に現行の米商會所條例、株式取引所條例は其運命を來る二十七年六月迄に極めたるみとなれば兩方共に現在商賣を營み居る定期賣買市場の外には應用されずして恰も無法律の姿なればなり然るに株式米商の市場のみにても去十九年當時の簡處を以て十分とはせざる尙ほ其上に工業商賣の進歩は日に月に盛にして定期賣買の必要は此四五年間にても大に其度を增したるや疑を容れず現に昨今聞く處に據れば各地より定期賣買市場の開設を其筋に出願するものも亦少なからざるよしなれば此際何とか速に策を定むるは當局者目前の急務なる可しと信ずるなり

雜報

○橫濱居留地の銃殺事件（廿四日の續き）

被告本人の陳述に引續き辯護人及び原告代言人の辨論あり去る九日午後零時三十分を以て終りければ判事は二時間休憩して即日判決し無罪を言渡せり其判決文の大意は左の如し

被告は謀殺の罪を以て訴へられたれども我領事裁判所の法律に從へば事宜により或は故殺の罪に當るみとあるべし而してガワー　ロビンソンを銃殺したるにもせよ他に之を許すの事情あれば或は無罪なるとを得べし抑も謀殺とは如何なる場合を云ふか、故殺とは如何ん又如何なる場合あらば無罪なるかと云ふに謀殺とは精神の確かなるものが豫め殺意ありて無法に人を殺したる場合なり而して其豫め殺意を生じたる場合に於ても悉く之を謀殺と云ふ能はず如何となれば殺意なる文字は特に說明を要する語なればなり故に謀殺罪を判決するに當りては事情を酌量して減じて故殺となさゞるべからざるみとあり故殺とは豫め殺意を有せずして無法に人を殺したるを云ふ又無罪の場合は四ありて其第四は曾て被告を憤懣せしひべきみとありしが爲め甚だしく刺衝されし時に當りて自制の力を失ふたる場合なり此場合に於ては尋常普通の人も其憤懣の爲め自制力を失ふて事の茲に至るべきや如何んを見ざるべからず尙ほ法律の目的は不正の起るを妨げんが爲めにして之を罰せんが爲めにあらざるみとを思はざるべからず茲に人あり尋常普通のものが同樣の場合に於て爲すべきみとを爲したるに過ぎざるに之を罰するみとあらば是れ殘酷なり社會を保護せんとするものなるべし法律は死者の爲めに復讐せず只だ生者を保護するのみ吾々は此事件に付て被告が以上の如き場合にあるか又無きかを判決せんとするものなり證據に付て考ふるに事の茲に至りしは長く引續きたる種々の事情によりて然りしものなり被告は二箇月餘も前より困難の恢復に盡力したるものゝ如く其妻に對する感情を思ひ止まらしめんが爲め死者に書を送り其承諾を得たり而して尙ほ進んでは艦長バートレットの之に關係して必ず思ひ止るべき旨死者より嚴重なる答辭を得たり然るに是等の盡力も功を爲さゝりしのみならず死者は益々被告の妻を誘導して更に顧慮する所なし其間被告は種々に心を惱したれども曾て死者を銃殺せんとの所存を示したるみとなく只だ其城郭と恃む妻の安全を計るが爲めに彼れに鞭打の耻辱を與へて以て懲さんとしたるのみ二月二日被告の妻は良人に向ひて事實を白狀に及びたり十月二十三日夜深けてロビンソンの宅に赴むきしみとを自白せり又强迫され誘惑されしみとを殘らず自白せり蓋し其自白せし所悉く事實なりしか將た良人に對しての白狀なれば故らに云ひ黑めたるものかそは法廷に於て問ふべき所にあらず死者は屢々食言したるが故に被告は其惡事を漸く信ずるに至りたるは疑ひなく又證人の陳述によりて被告が大に心神を惱したるは事實なり故に相會するみとあれば自ら其身を制するみと能はざるや尤もの次第なり始めは只だ鞭責せんとしたりしも其過ぎ行くを見認めたる時は自制の力を失ひ且何事を爲すか自ら其爲す所を知らざりしに疑ひなく己が城郭を保護し小兒の母を失はしめざらんとしたるは即ち被告の目的の一なり予は法廷に於て取調べたる證據によりて尋常普通の人が斯る場合に臨み其悲嘆の原因たるものに會して能く自制心を維持するみとあるべしと信ずる能はず故を以て予は謀殺其他有罪と見るべきものにあらずと認定し無罪の宣告を爲すものなり　（完）

○佛國の議院（承前）

抑も歐洲大陸諸國に於ては各々境を接して國するがゆゑ國と國との交渉も從て多く政治家の苦心する所も亦多くは此邊に在りて存せり即ち之を言ひ換ゆれば人種及び宗敎の異同より起る樣々の事件を始めとして外に對し內の勢力を維持する所謂對外政策の如き一日も忽かせにす可からざる者あり而して又之を內にしては文明の日に進むに從ひ便利なる器械の發明あると同時に勞力の必要を省くが爲め勞働者の働くべき區域を狹められ生活に苦しむの徒年一年に增加するの事情あり其間に處する當局者の困難想遣られたる次第にして日本抔とは頗るその趣を異にする者あり左れば彼のフレシチー內閣の更迭せしが如きも矢張宗敎上の問題よりして政府と反對黨との間に衝突を起せし結果に外ならず而して其原因の由來する所なりと云ふを聞くに元來羅馬加特力敎徒は概して共和政府を戴く事を好まず政府も亦宗敎に對しては頗る冷淡なる樣子あり彼の有名なるレオンベッタ氏の如きは其在世の時に當り宗敎は吾敵なりとの言を爲したる程なれば今の當局者たるものの必しも其言を守るに非ざる可しと雖も流風餘音の存する所幾分か宗敎に重きを置かざるの傾きあり年來の關係此の如くなる折しも加特力敎徒が羅馬のセントペータース、カセドラルに參詣したる硏共和政府に對し不都合の行ひありたるを以て政府は其時より敎徒の參詣を嚴禁したるより國內敎徒の沸騰を起し此處彼處に集會して益々激昂する有樣なるにぞ政府は更に之を取締るが爲めに集會法を制定して議會の議に附せし處王黨の攻擊拔も甚くして國らずも其議案は遂に否決されたり是に於て時の內閣總長たるフレシチー氏及宗敎に直接の關係ある文部大臣、集會取締等の責に任ずべき內務大臣袂を聯ねて辭職せしなり尤も以上の人々が辭職を申出でたる其當時大統領カルノー氏は卿等の政策に對し國會は之を否決したれども輿論は必ず之を承認すべければ辭職するに及ばずとて頑りに其留職を勸めたれども三人共既に意は退きぬ但し其內のフレシチーは其職を退きぬ但し其內のフレシチーは其兼務たるりたる迄にて其兼務たる氏獨りは尙ほ引續いて政府に留まり氏は永く政府の樞機を攝し陸軍大臣として同氏を內閣の勇退は佛蘭西政府の爲めに事の序でに云ふ可きは陸軍大臣なる凡を何れの國と雖も軍なるに佛國はフレシチーの如き人物を以て陸軍大臣と爲せり是くその任に適するの致す所なり

○銅の前途　近來銅の價は佛國の形勢動もすれば軍人の中に出し兵權を以ても云ふ可からざるよりなる者と思はる

○銅の前途　近來銅の價はみとにて十年前に於て最に昨年末の調査に據れば以上の增加を見るに至り又其得意先の如きも最の最たるものとなせしとするの勢なるがその內に輸出を爲すに至れり左れども發掘の如きも亦頗る發達するべく未だ精密なる調査したるかは確言し難きも增加しつゝある折柄昨年に於ての需用供給の間に大なる不足を爲しつゝあるものもあるべけれども近來南亞米利